



緑の募金

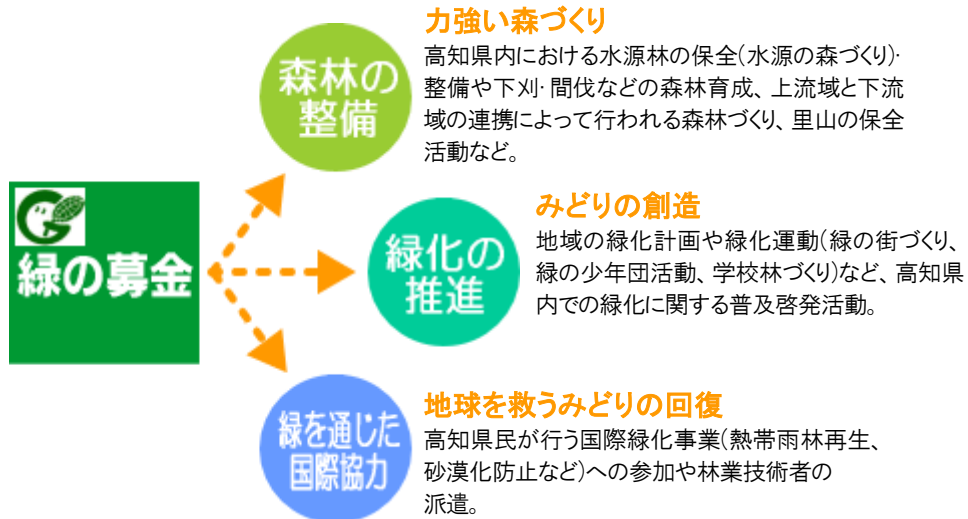
公募事業報告集

【令和4年度】

公益社団法人高知県森と緑の会

はじめに

緑の募金事業は、緑のボランティア活動を支援し、国民参加の森林づくり運動として展開することにより、国内はもとより地球規模で森林づくりを進めることを目的として、平成8年以降「緑の募金法」に基づき、全国で森林の整備、緑化の推進、緑の国際協力の3分野の事業を実施しています。



高知県では、公益社団法人高知県森と緑の会が「緑の募金」への寄付を募り、その管理運営を行っています。寄付いただいた緑の募金は、高知県内のさまざまな事業に活用されており、その主要事業としてボランティア団体等が行う地域に密着した森林の整備や緑化の推進に関する公募事業に助成しています。

令和4年度の公募事業には、5団体から5件の申請がありました。事業の原資となる緑の募金総額は平成30年に大幅に減少し、令和2年には新型コロナウイルス感染症の影響もあり過去最低額となりました。そのような厳しい状況ではありますが、ボランティア団体等の活動は緑の募金で支援するべき事業と考え、1,800千円の交付額を予定して運営協議会で審議し、その後の理事会で5団体5事業に対して総額1,603千円の交付が決定となりました。最終的な交付実績は5団体5事業で総額1,449千円となりました。

緑の募金にご協力いただいた方々や関係者の皆さまに事業について報告し、募金の意義や役割を認識していただくことは、今後の募金活動を維持・発展させていくうえで大変重要です。そこで、毎年報告集を作成して関係者に配布するとともに、当会ホームページに掲載し、各事業の概要についてご紹介しています。

県内の団体の皆さまにおかれましては、今後の活動の参考にしていただくとともに、県民の皆さまの緑の募金への理解の一助になれば幸いです。

今後とも、緑の募金へのご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年4月

公益社団法人高知県森と緑の会

[目次]

令和4年度緑の募金公募事業一覧表	1
------------------	---

【森林の整備】

令和4年度入野松原松苗植樹事業	2
-----------------	---

山林保全育成事業	3
----------	---

大野見島ノ川溪谷景観づくり事業	4
-----------------	---

【緑化の推進】

奥物部みやびの丘再生事業	5
--------------	---

本山町汗見川森に親しむグリーンウッド体験事業	6
------------------------	---

令和4年度緑の募金公募事業一覧表

森林の整備

番号	事業名	実施団体名	事業概要	実施場所	団体の所在地	実施日	交付実績額 (交付決定額)
1	令和4年度入野松原松苗植樹事業	入野松原保存会	名勝入野松原の松に森林病虫害による松枯れが広がっているため、小・中学生及び地域住民により松の植樹を行い、松林の再生を図る。松林を後世に引き継ぐとともに、自然の大切さを育む活動として、町内の小学生を対象とした林間学校や幡多林業事務所による高知県山の日事業と合わせて実施し、関係者等80名が参加して松苗400本を植樹した。	幡多郡黒潮町入野松原	黒潮町	令和5年 2月17日	400,000 (400,000)
2	山林保全育成事業	仁淀川流域山林保全育成の会	高知県を代表する日本一の清流仁淀川上流域の水源涵養機能を高めるため、仁淀川上流域の山林に広葉樹900本を植樹した。仁淀川上流から下流の関係者や一般の参加者(高校生から80代まで幅広い世代)の計51名が参加し、森-川-海のつながりを意識した豊かな森づくり活動を協力して展開した。今回の植樹により水源の森づくりの大切さを普及啓発することができた。	仁淀川上流域の山林 (民有林:いの町中追字硫黄平)	いの町	令和4年 11月6日	400,000 (400,000)
3	大野見島ノ川溪谷景観づくり事業	島ノ川溪谷等修景緑化推進委員会	平成28年度より島ノ川溪谷を活用した取り組みの一環としてミツマタやドウダンツツジ等の植樹を行い、紅葉の時期に合わせたウォーキングイベントを開催する等地域活性化に取り組んできた。近年、植樹した箇所が鳥獣(主にシカ)の被害により空白地となっているため、約0.4haにイロハモミジ等35本を捕植した。	中土佐町島ノ川地区	中土佐町	令和5年 2月18日	166,000 (188,000)
小計							966,000

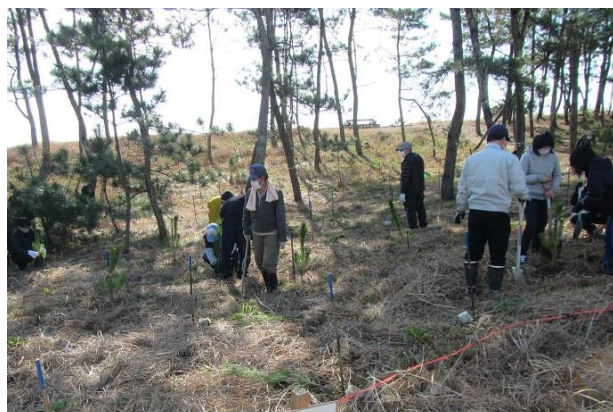
緑化の推進

番号	事業名	実施団体名	事業概要	実施場所	団体の所在地	実施日	交付実績額 (交付決定額)
1	奥物部みやびの丘再生事業	三嶺の森をまもるみんなの会	鹿の食害によりササ枯れが顕著となったみやびの丘に平成30年度に防鹿柵を設置した。これにより柵内のササが回復するとともに後継樹が育つなどの効果が出ていた。しかし、未設置の場所では被害が進行し、一部でササが枯れた後が裸地状態となり土砂の流出が起きていたため、昨年度よりみやびの丘の再生を図る取り組みを再開した。今回の事業で防鹿柵を2箇所880m設置した。また、土砂流出防止マットを825㎡設置した。	香美市物部町東熊山国有林(みやびの丘)	香南市	令和4年 5月28日	294,000 (294,888)
2	本山町汗見川森に親しむグリーンウッドワーク体験事業	汗見川活性化推進委員会	本山町汗見川地域は清流汗見川や白髪山などの豊かな自然を有し、集落活動センター汗見川を中心に自然を生かした体験活動(間伐体験等)を行っている。地域の豊かな自然により親しんでもうらうためにグリーンウッドワークを体験する講習等を実施した。グリーンウッドワークインストラクター講習は新型コロナウイルス感染症等の影響により中止となった。 ①グリーンウッドワークインストラクター講習(中止) ②樹木医による樹種の見分け方 参加者:15名 ③木工加工講習 参加者:14名 ④グリーンウッドワーク体験イベント 参加者:6名	汗見川ふれあいの郷清流館	本山町	令和4年 ①中止 ②10月2日 ③11月26日 ④12月11日	189,000 (314,000)
小計							483,000
合計							1,449,000

森林の整備 1

事業名	令和4年度入野松原松苗植樹事業	団体名	入野松原保存会
実施場所	黒潮町入野松原	実施日	令和5年2月17日(金)
団体の所在地	黒潮町		
事業の目的 黒潮町の国の名勝「入野松原」は黒潮町のシンボルであり、防潮・防風林の役割を果たしている。しかし、近年は深刻な松枯れが広がっており、平成30年度は2,000本以上、令和元年度は2,500本以上の枯れ松を伐倒するなど被害は大きくなっている。令和元年度から樹幹注入や薬剤の地上散布時期の変更等の対策を行っているが、今後も対策を継続し、松苗の植樹を行うことで松林の再生を図る。			
事業の概要 平成30年度から毎年松苗の植樹を行っている。令和4年度も枯れた後の空白地に松苗400本を植樹した。松林を後世に引き継ぐとともに、自然の大切さを育む活動として、町内の小学生を対象とした林間学校や幡多林業事務所による高知県山の日事業と合わせて実施し、関係者等80名が参加した。			

事業の様子



森林の整備 2

事業名	山林保全育成事業	団体名	仁淀川流域山林保全育成の会
実施場所	仁淀川上流域の山林 (民有林:いの町中追字硫黄平)	実施日	令和4年11月6日(日)
団体の所在地	いの町		
事業の目的 高知県を代表する日本一の清流仁淀川上流域の水源涵養機能を高めるため、上流域の皆伐跡地に仁淀川上流から下流の関係者により広葉樹を植樹する。自然の再生力も生かして、伐採後の種子の芽生えや株からの萌芽を適当に残して、その樹種も育てながら植樹との調和を図り、森林の再生を図る			
事業の概要 仁淀川上流から下流の関係者や一般の参加者(高校生から80代まで幅広い世代)の計51名が参加し、森-川-海のつながりを意識した豊かな森づくり活動を協力して展開し、ケヤキ、トチ、ヤマザクラ、イロハモミジ、クヌギ等の広葉樹を900本植樹した。今回の植樹により水源の森づくりの大切さを普及啓発することができた。			

事業の様子



森林の整備 3

事業名	大野見島ノ川溪谷景観づくり事業	団体名	島ノ川溪谷等修景緑化推進委員会
実施場所	中土佐町大野見島ノ川地区	実施日	令和5年2月18日(土)
団体の所在地	中土佐町		
事業の目的 平成28年度から島ノ川溪谷に春に楽しめるミツマタを植樹してきたが、近年紅葉時期の見物客が増えているので、紅葉スポットとするための植樹を行う。植樹の際には地域ボランティアを公募し、森林保全の普及啓発に努める。			
事業の概要 今年度も当初は一般ボランティアを募って行う予定であったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から一般公募は中止し、団体関係者や地域住民等19名が参加してフジツツジ、イロハモミジ等35本を植樹した。当日の様子はよさこいケーブルテレビでも放送され、事業についての周知ができた。春から秋にかけての季節を通じて溪谷を楽しむことができるようになったので、地域振興のためのイベント等を実施し、今後も森林保全の普及啓発を行っていく。			

事業の様子



緑化の推進 1

事業名	奥物部みやびの丘再生事業	団体名	三嶺の森をまもるみんなの会
実施場所	香美市物部町東熊山国有林 (みやびの丘)	実施日	令和3年5月23日(日)
団体の所在地	香南市		
事業の目的 鹿の食害によりササ枯れが顕著となったみやびの丘に平成30年度に防鹿柵を設置した。これにより柵内のササが回復するとともに後継樹が育つなどの効果が出ていた。しかし、未設置の場所では被害が進行し、一部でササが枯れた後が裸地状態となり土砂の流出が起きていたため、令和3年度よりみやびの丘の再生を図る取り組みを再開した。今回の事業では、昨年度に引き続き、防鹿柵および土砂流出防止マットを設置する。			
事業の概要 昨年度に設置した防鹿ネットを延長して、みやびの丘南面に330m、東斜面に550mの計880mを設置した。また、土砂流出防止マットをみやびの丘南面に5枚(75㎡)、東斜面に50枚(750㎡)設置した。例年と同様に高知中部森林管理署との共催で事業を実施し、団体関係者8名、一般ボランティア92名、その他関係者等23名の計123名が参加した。天候に恵まれ当初の予定以上の参加者により、計画を上回る規模で防鹿柵を設置することができた。今回の活動により下層植生が回復し、森の再生が図られることが期待できる。			

事業の様子



緑化の推進 2

事業名	本山町汗見川森に親しむ グリーンウッドワーク体験事業	団体名	汗見川活性化推進委員会
実施場所	汗見川ふれあいの郷清流館 およびその周辺	実施日	① 令和4年10月2日(日) ② 令和4年11月26日(土) ③ 令和4年12月11日(日)
団体の所在地	本山町		
事業の目的	本山町汗見川地域は清流汗見川や白髪山などの豊かな自然を有し、集落活動センター汗見川を中心に自然を生かした体験活動(間伐体験等)を行っている。地域の豊かな自然により親んでもらうために地域のスタッフ育成のための講習や外部の観光客等向けのグリーンウッドワーク体験会を実施する。		
事業の概要	<p>当初予定していた人材育成のための講習は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、県内の講師によるグリーンウッド体験イベントを3回開催した。</p> <p>① グリーンウッドワークインストラクター講習(中止)</p> <p>② 「樹木の見分け方を学ぼう」参加者15名 樹木医から樹種の見分け方の基本を学び、清流館周辺を散策し、観察・採取してオリジナル標本を作った。</p> <p>③ 「のみで豆皿をつくろう」参加者14名 筒井木工所の長瀬氏を講師に、のみ等の使い方、樹種による加工の特徴を学び、栗の木の丸太から豆皿を作った。</p> <p>④ 「クリスマスツリーをつくろう」参加者6名 清流館スタッフが講師となり、まんりきの丸太を割ったり、そのまま丸太を活用して、ナイフ、ハンドドリル等を使って木製のオリジナルツリーを作った。</p> <p>事業終了後も体験スタッフを養成するために継続して事業を行っており、県内外のグリーンウッド実践者と交流を図っている。</p>		

事業の様子

「樹木の見分け方を学ぼう」



「のみで豆皿をつくろう」



「クリスマスツリーをつくろう」



1円からはじめる森づくり。緑の募金はあなたから森へのプレゼント。



緑の募金に関するお問い合わせ
緑の募金事業に関するお問い合わせ

公益社団法人 高知県森と緑の会

〒781-8010 高知市棧橋通6丁目7番43号

総合保健協会合同庁舎5階

TEL : 088-855-3905 FAX : 088-855-3906

Email : info@moritomidori.com

URL : <http://www.moritomidori.com/>